

三重大学とつくる  
**地域創生**

**三重大学**  
**地域拠点サテライト**

# 三重大学地域拠点サテライト

## 概要

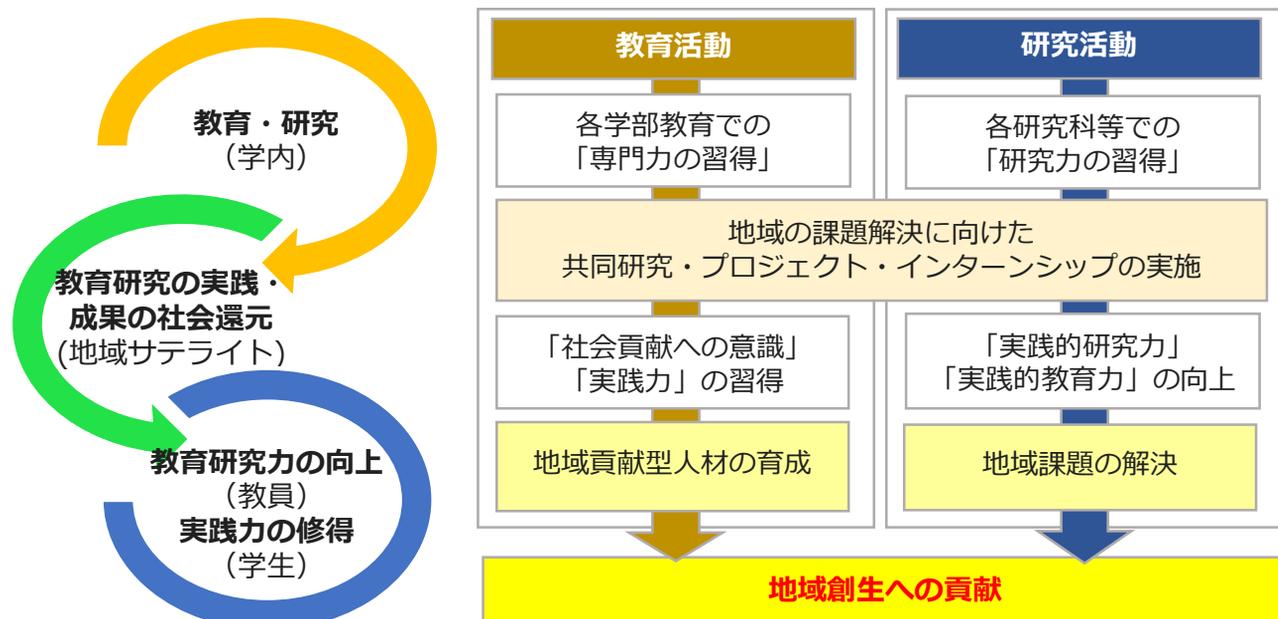
平成28年度から順次設置している「地域拠点サテライト」では、県内全域を三重大学の教育研究フィールドと位置付け、多様な地域特性を有する4つの地域サテライト（伊賀サテライト、東紀州サテライト、伊勢志摩サテライト、北勢サテライト）を地元企業や自治体と大学を繋ぐハブ機能として展開しています。各地域サテライトにおいては、自治体・教育機関等との連携および協力をもとに、特色豊かな活動拠点を設置しています。

これら4つの地域サテライトでは教員や学生がフィールドワーク等の実践的な教育研究活動を行うほか、共同研究・共同プロジェクトを通じた地域の課題解決等に全学的に取り組みながら、三重大学の教育研究力の向上に加え、地域創生や地域の人材育成に貢献しています。



## 目的

### ➤ 教育研究機能の強化を通じた地域創生への貢献



# 4つの地域サテライト

## 地域の課題・特性に応じた 社会還元・実践的な教育研究力向上の場

平成31年  
2月1日開設

### 北勢サテライト

Hokusei Regional Satellite

- **担当エリア**：四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曽岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町
- **北勢サテライトの目標（旗）**：日本のモノづくりの真髄を体感し富を生み出す拠点
- **具体的活動内容**  
自動車、石油化学、食品化学企業等との産学連携事業、企業人材のリカレント教育、モノづくり企業との連携による学生・若手教員の育成等

### 伊賀サテライト

Iga Regional Satellite

- **担当エリア**：名張市、伊賀市
- **伊賀サテライトの目標（旗）**：固有文化と地域資源の活用で地域再生に寄与する拠点
- **具体的活動内容**：忍者等の歴史・文化、医薬品企業との連携、森林資源の活用等

### 伊勢志摩サテライト

Ise-Shima Regional Satellite

- **担当エリア**：伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、南伊勢町
- **伊勢志摩サテライトの目標（旗）**：歴史ある自然との共生・共存の思想を世界に発信する拠点
- **具体的活動内容**：食と観光産業による地域創生の研究（歴史文化の交流、海女文化、水産資源の活性化、食品の6次産業化、観光資源の活用など）、地域人材の育成等

### 東紀州サテライト

Higashi-Kishu Regional Satellite

- **担当エリア**：尾鷲市、熊野市、大台町、大紀町、紀北町、御浜町、紀宝町
- **東紀州サテライトの目標（旗）**：地域資源で富を生み力強い子供が育つことを支える拠点
- **具体的活動内容**：へき地教育、水産増養殖・加工業との連携、森林資源や観光資源の活用等

# 伊賀サテライト<平成28年度開設>

●**担当エリア**：名張市・伊賀市

活動拠点 **伊賀研究拠点**〔伊賀市〕

●**概要**：伊賀地域の企業の高度化や新産業の創出に向けて地域特性を活かした産学官連携に取り組むとともに、地域活性化に寄与するため、文化的啓発活動に取り組む。



活動拠点 **伊賀連携フィールド・国際忍者研究センター**〔伊賀市〕

●**概要**：地域と連携した忍者研究の拠点として、忍者に関する教育・文化振興・研究の推進を図るとともに、地域振興上の諸課題等に適切に対応することにより伊賀地域の充実・発展に寄与する。さらに、国際的な忍者研究を推進し、その成果を広く国内外に発信する。



## 活動紹介

### 産学官連携活動

#### 産学官連携セミナーin伊賀



産学官連携の在り方や進展に向けて考える機会とするべく、ヒルホテルサンピア伊賀の白鳳の間にて、「伊賀研究拠点発共同研究の進展に向けて」というテーマで「第16回三重大学発産学官連携セミナー」を開催し、130名の参加があった。(2018.01.26)

#### 兵糧丸風かたやき小焼き開発



「忍者の知恵を活かした携帯食に関する研究」をテーマとして名張市の洋菓子店「モンパクトル」と共同研究を行い、兵糧丸の原料等を参考に、既存商品を進化・発展させ、三重大学産学連携認定商品として販売を開始した。(2018.03～)

#### 忍びの里伊賀創生プロジェクト



「忍者」の歴史・文化を掘り下げつつ、本物を体験するプログラムを産学官民が連携して創出するため、三重県・伊賀市・日本航空との協同事業『「忍びの里 伊賀」創生プロジェクト』が発足。伊賀市の旧まるばしら保育所にて発足会を行った。(2017.08.05)

### 地域人材育成

#### 「こども大学」開催



子供たちに科学の楽しさを伝え興味を持ってもらい、将来地域に貢献できる人材育成を目指すことを目的に、第16回「こども大学」を開催した。三重大学生物資源学科学研究科学生5名、伊賀市職員、三重大学教職員が講師として参加した。(2017.08.08)

#### 小学校への出前授業



「電磁石入門」をテーマとして、伊賀市立新居小学校にて5年生27人を対象に出前授業を行った。(2017.09.20)

#### 中高大連携授業



桜丘中学高等学校の中高大連携授業の第3回目を開催。第1回目で講義を行った「比色分析」をテーマとした実験を実施した。(2017.7.10)

地域資源の活用・研究成果の社会還元

国際忍者研究センターの設置



忍者文化の研究及びその成果の情報発信の拠点として、国際忍者研究センターを設立した。

(2017.07.01)

伊賀オーガニックフェスタ



ストレス測定を青山種生地区にて開催された伊賀オーガニックフェスタに参加し、ランビキの現代版であるHerbicを用いた芳香体験や、簡易ストレスチェッカーを用いて行った。(2017.08.27)

忍者の食と薬展



伊賀市文化会館にて開催された伊賀市文化都市協会主催の「にんぱく(伊賀DE忍者博覧会)」で、伊賀研究拠点が忍者の食と薬に関する研究成果のパネル展示を行った。

(2018.04.21~22)

国際忍者研究センター設立記念講演会・シンポジウム開催



国際忍者研究センターの設立を記念し、海外から招待した研究員による記念講演を含む講演会とシンポジウムを開催し、約200名の参加があった。

(2017.07.01)

講演会「徳川幕府と伊賀者たち」



東京都武蔵野市のスイングホールにて、国際忍者研究センターの高尾准教授が徳川幕府伊賀者についての講演会を行い、約150名の参加があった。(2018.05.16)

忍者・忍術学講座



ハイトピア伊賀にて市民講座「忍者・忍術学講座」を月1回開催し、平成29年度は全12回で延べ941名の参加があった。(2017.04~2018.03)

国際忍者研究センターの展開



忍者に関する教育・研究の推進

国際忍者研究センターは平成29年7月に伊賀サテライト内に設置され、国際的な忍者研究の拠点として、忍者の歴史や文化に関する研究を行っている。さらに大学院人文社会科学部研究科では、平成30年度の入試から専門科目「忍者・忍術学」が導入され、本センター所属の准教授が行う講義もある。伊賀地域をフィールドとして現地で学ぶ授業も予定されており、忍者研究を行う人材育成に取り組んでいる。

活動実績 (平成29年度ベース)

▼市町とのプロジェクト

- 名張市 名張市において望まれる地域医療に関する調査研究事業委託
- 名張市 生活習慣病予防重点プロジェクト特定健診受診率向上事業委託業務
- 伊賀市 地域住民による地区防災計画立案に資する意識調査に関する研究
- 伊賀市 地域の森林・林業再生プラン策定業務委託研究

▼地域貢献支援事業

- 名張市 「地域でのアクションリサーチで、健康増進を改善する」
- 伊賀市・名張市・津市 LED利用型植物工場における光環境特性の構築および商用普及

▼県内中小企業との共同研究

- 化学分野 1件、環境学分野 4件、工学分野 1件、生物学分野 1件、農学分野 3件、複合領域分野 1件

# 東紀州サテライト<平成28年度開設>

- **担当エリア**：尾鷲市・熊野市・大台町・大紀町  
紀北町・御浜町・紀宝町

## 活動拠点 **東紀州産業振興学舎** (尾鷲市)

- **概要**：地域産業振興や地域雇用の拡大に向けて、地場産業である柑橘農業、水産業、林業を県内外の企業の協力を得ながら地域の自治体との共同プロジェクトや県内外の企業との共同研究を実施する。



## 活動拠点 **東紀州教育学舎** (熊野市)

- **概要**：東紀州地域の小中学校教員と共同で、へき地教育、英語教育、ICT教育に対応できる教材を、各自治体のニーズに合わせた形で開発に取りくむ。同時に、地域課題に対応できる教育人材育成を行うとともに、教員として地域に戻ってもらえるよう、東紀州地域の高校において地域の魅力を発信できるカリキュラム作成を行う。



## 活動紹介

### 学生の地域との連携活動

#### 学生の地域食文化実習



東紀州地域の柑橘類や水産物等の伝統食文化の保存・調理及び学生の伝統食文化理解の涵養を目的に、NPO法人天満浦百人会協力の下、地域食文化実習を行った。(2017.11.25~26)

#### 甘夏の加工及び販売



NPO法人天満浦百人会と学生が連携し、甘夏の利用の促進、三重大学学生と地域住民との交流を目的に、未収穫の甘夏利用率の向上を目指し甘夏加工及び販売を行った。(2017.04.29~30)

#### 生物資源学部「地域社会演習」



地域課題の解決をテーマとしたALを通して、主体的な学習能力や問題解決能力、コミュニケーション能力を身につけさせると同時に学修者の地域理解を促し、地域への興味関心へと繋げた。(2017.09.19、09.22)



#### 熊野サミット

「熊野地域を元気に」「熊野で暮らす・働く・楽しむ」をテーマに、三重大学をはじめ、熊野地域にて活動している様々な大学がそれぞれの活動の発表・情報交換を行い、横のつながりを構築すると同時に、東紀州地域の関係者との連携を図ることを目的とするサミットを開催した。(2017.10.28~10.29)



#### 藻場再生事業

藻場の衰退現象である「磯焼け」がもたらす水棲生物の減少による漁獲高に大きな影響を及ぼす問題に対して、ウニ類(ガンガゼ)の除去が大きな効果をもたらすことは判明している。本学は三重県水産基盤整備課との調査研究を踏まえ、三重県南部の沿岸域でウニ類の除去に取り組む効果的な時期や手法を「三重県版磯焼け対策ガイドライン」として取りまとめた。今後はガイドラインを基に、新たな地域でのウニ除去活動の実施と効果の測定に向けたプロジェクトを実施している。(2017.07.06~2018.03.31)

## 現地教員への英語研修



地域課題に対応できる教育人材育成の一環としての、東紀州地域の教員を対象とした英語研修。平成29年度は計14回開催した。(2018.01～)

## 複式学級における英語・ICT教育



東紀州地域小中学校において、2020年の小中学校における英語・ICT教育必修化に向けた教材開発の実践・提案を兼ねた出前授業を、平成29年度は英語を11小学校・計19回43時間、ICTを2小学校・計5回10時間実施した。(2017.11～)

## 高大連携事業



尾鷲高校との高大連携事業として、地域創生に関わる地場食材を活かした商品開発の授業を実施した。(2018.01.17～18)

## 国際交流・研究成果の社会還元等



### 海外の大学との国際交流

学部間協定を結んでいるフライブルク・カトリック応用科学大学と共催し、両者の地域医療における共通課題の解決に向け、パネルディスカッションや、地域医療の解決策を考えるにあたり、三重県南牟婁郡御浜町にある紀南病院視察を行った。その成果は卒業論文や国際共同研究に繋がっている。(2017.12.23)

## 産学官連携商品開発



三重大学地域イノベーション学研究所の産学官協働ゆずプロジェクトの一環で、近鉄リテーリングと酒造会社伊勢萬(株)と協働し、「奥伊勢ゆずハイボール」を開発した。(2017.07.21)

## 新たな観光モデルづくり



尾鷲観光物産協会を中心に三重大学等が協力し「天狗倉山まるごとプロジェクト」を実施。観光振興による地域再生を目的に、モデルツアー、ワークショップ等を開催した。(2017.09～)

## 企業研究会in東紀州



キャリア支援センター主催、東紀州サテライト共催の下、東紀州地区の地域、企業の魅力を知ることを目的に、企業研究会in東紀州を開催した。(2017.12.02)

## 新たな取り組み



### シェアリングエコノミー活用推進事業

三重大学地域創生戦略企画室と紀北町役場、三重交通、みえ熊野古道商工会等の協働により、移動手段を確保できない交通弱者問題解決の一助とすべく、ICTを活用した「ライドシェア」の実証事業の実施を、総務省の「シェアリングエコノミー活用推進事業」を通して予定している。平成30年度9月～12月の実証に向け関係団体との調整を行っている。

## 活動実績（平成29年度ベース）

### ▼市町とのプロジェクト

- 御浜町 古文書の整理及び解読
- 御浜町 ヨソモノ・ワカモノ目線での町内PRコンテンツ制作を通じたまちの魅力向上に関する研究
- 尾鷲市 尾鷲市尾鷲湾及び賀田湾における藻場追跡調査
- 尾鷲市 高校生地域人材育成委託研究

### ▼地域貢献支援事業

- 尾鷲市 ウニ除去を通じた三重県南部の藻場再生活動の推進
- 熊野市 東紀州におけるICTを援用した科学的柑橘栽培支援
- 尾鷲市 東紀州サテライトを拠点とした地域プロジェクト型インターンシッププログラムの開発
- 尾鷲市 尾鷲天満荘（東紀州産業振興学舎）を利用した地域食文化実習
- 大紀町 大内山川に生息する放流アユ比率の季節変動
- 大台町・多気町・明和町・玉城町・伊勢市 宮川用水のパイプライン内のタイワンシジミ詰まり問題解決に向けて
- 熊野市 東紀州サテライトを拠点とした熊野地域の小中高の児童・生徒に対する「木育」プログラムの開発と実施

### ▼県内中小企業との共同研究

- 農学分野 1件

# 伊勢志摩サテライト<平成29年度開設>

- **担当エリア**：伊勢市・鳥羽市・志摩市・玉城町  
度会町・南伊勢町

## 活動拠点 海女研究センター〔鳥羽市〕

- **概要**：「海女」を切り口とした、教育研究・人材育成・情報発信等を展開する、地域連携の活動拠点。専門知識・技術（スキル・ノウハウ）・人材の提供を通じて、地域との協働を基に地域の課題解決を支援する。



## 活動紹介

### 地域人材育成

#### 「地域経営プラン演習」構築事業



県立南伊勢高校南勢校舎にて、「地域経営プラン演習」構築事業として「西村ゼミ」を開講。自身と地域の未来を考える力を養成する。平成30年度からは正式科目「地域探求」として実施している。(2017.6～)

#### 南伊勢町まちづくりリーダー研修



本学教員がコーディネーターとして参画し、南伊勢町の地域リーダー養成を目的とした定期的な研修会を開催。地域の若手人材や高校生、教員等を集め、地域の将来を牽引する人材養成を推進する。平成30年度からはリーダー養成事業として実施。(2017.5～)

#### 小学校の郷土教育教材開発



志摩市の教員及び環境省と共に、志摩市立志島小学校の3・4年生を対象に、郷土教育教材開発を実施した。地元小学校との共同研究として約半年にわたり実践授業を行った。(2017.5～12)

### 産学官連携活動・研究成果の社会還元等

#### 地区計画策定



鳥羽市連携による地区計画の策定。伊勢志摩国立公園における景観形成と地震・津波対策を盛り込んだ「鳥羽市の中心市街地の再生」を提案し、鳥羽市長にプレゼンを行った。(2017.12.26)

#### 工学部伊勢地区工場見学



伊勢市産業支援センターと連携し、工学部機械工学科・電気電子工学科の学生による地域企業の工場見学を実施。平成29年度は6社を回り約120名が参加。(2017.6～11)

#### 海女研究センターの設置



平成30年3月に活動拠点として海女研究センターを設置。海女の歴史・文化研究を基軸に、「海女」を切り口とした教育活動・学際的研究、情報発信、国際交流等を展開する。(2018.3.25)



#### 水産増養殖に関する高大連携事業

三重県立水産高等学校（志摩市和具）との高大連携事業。志摩を代表する真珠生産用のアコヤガイ餌料としての微細藻の性能評価試験を共同研究として実施したり、両機関の教員が相互に特別講義や実習支援を行うなど、教育・研究面でのさまざまな連携活動を実施している。(2017.4～)

## 伊勢志摩サテライトシンポジウム



伊勢志摩サテライト開設1周年及び海女研究センターの設置を記念し、シンポジウムを開催。海女や伊勢志摩地域での研究成果の発表と地域有識者との意見交換を実施。(2018.3.25)

## 学生の伊勢志摩視察・現地交流



6か国11大学から100名を超える学生・教員が参加するTri-U国際ジョイントセミナー&シンポジウムにおいて、スタディツアーを実施。伊勢志摩の視察と現地交流を行った。(2017.10.25)

## 国際研修プログラムの実施



JICA、JISNASによる国際研修プログラム「里海の理念共有による沿岸漁業資源の持続的利用」を実施。「里海」の理念とその生物資源学的重要性に関する研修を行った。(2018.2.27~3.8)

## 新たな取り組み



## 海女の歴史・文化関係アーカイブのデータベース構築

海女に関する画像・映像、古文書、民俗資料などをデジタル化し、データベースを構築することにより、文化財の保護に寄与するとともに、海女研究の基礎的な資産を構築。これに基づく基礎研究・応用研究の進展だけでなく、情報発信、展示会・映写会等の実施により、海女文化の理解と地域振興に貢献する。



## 伊勢志摩サテライト交流会

伊勢志摩地区の行政職員及び本学職員の人材育成と官学連携の基盤強化を目的とした「伊勢志摩サテライト交流会」(テーマ別研修会)を開催。伊勢志摩サテライト管内の全6市町と特定のテーマをもとに意見交換・情報交換を行い、地域共創に向けた基盤形成に取り組む。



## サイクルツーリズム導入支援事業

一般社団法人自転車協会の補助金を用いたモデルケース事業開発。三重大学地域創生戦略企画室で伊勢市、御浜町他との協働による検討を推進する。国交省・文科省が後押しする自転車活用推進法・ニューツーリズム推進政策に則った、各自治体へのサイクルツーリズム導入・定着支援として、スポーツバイクを活用した観光来訪促進・地域活性化支援を目指す。

## 活動実績(平成29年度ベース)

## ▼市町とのプロジェクト

- 志摩市 志摩市内の観光・文化・産業を活用した地域人材育成のための工学教育プログラムの開発
- 南伊勢町 南伊勢高校南勢校舎「地域経営プラン演習」構築委託業務
- 南伊勢町 南伊勢町湿潤系バイオマスエネルギー地域内循環利用可能性検討業務
- 南伊勢町 「アワビ養殖の確立と企業経営による雇用創出プロジェクト」におけるアワビ生産技術開発研究
- 志摩市 電動バス運行実証実験による地区の社会関係資本への効果検証調査
- 志摩市 平成29年度 津波避難施設の安全性を検証する研究

## ▼地域貢献支援事業

- 志摩市 志摩域における水産増養殖の振興に関わる研究及び教育での連携
- 伊勢市 「伊勢河崎商人館」における展示計画を通じた景観まちづくり活動の推進
- 志摩市・南伊勢町 ウニ除去を通じた三重県南部の藻場再生活動の推進
- 伊勢市・玉城町・大台町・多気町・明麻町 宮川用水のパイプライン内のタイワンシジミ詰まり問題解決に向けて
- 志摩市 志摩の里海と海女文化を支える磯根資源の増殖のための取り組み
- 伊勢市・津市・伊賀市 LED利用型植物工場における光環境特性の構築および商用普及
- 伊勢市 人生経験のもつ強みを「聞き書き」を通して発見しよう

## ▼県内中小企業との共同研究

- 化学分野 1件、環境学分野 1件、工学分野 1件、生物学分野 4件、農学分野 2件、複合領域分野 1件

# 北勢サテライト<平成30年度開設>

- **担当エリア**：四日市市・桑名市・鈴鹿市・亀山市  
いなべ市・木曽崎町・東員町・菰野町  
朝日町・川越町

活動拠点 **知的イノベーション研究センター** (四日市市)

- **概要**：産学官連携を通じたSociety5.0・SDGsの実現を目指す地域産業の成長に寄与するため、多面的な視点から課題を発見し、異分野融合により解決方法を見だし、成果の社会実装を推進する。

## 北勢サテライトのミッション

### 1. ミッション



- (1) 共同研究、共同プロジェクトによる地域の課題解決
- (2) 企業人材のリカレント教育
- (3) 若手教員の実務研修

北勢地域の  
企業・自治体



### 2. 北勢地域での実績の活用と連携



### 3. 効果(目指す課題解決の例)

- 福祉介護施設での自動化による人材不足の解消
- 次世代産業を牽引する高度人材の育成
- 情報化の推進による製造業の競争力強化
- 1次産業の6次産業化による収入増



**社会実装**  
地域社会において有効性を確認(実証 実験)し、社会イノベーションを実現

**解決方法の提案**  
実現可能な方法の検討

**課題の発見**  
種々の地域の現場を多面的に分析

北勢地域の実際のデータに基づき、PDCAによって解決方法を発展させる。

# 数字でみる地域との取組状況

## 三重県、市町とのプロジェクトの実績 (共同研究・受託研究・受託事業)

地域	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
北勢	7	14,831	6	8,940	9	10,734
伊賀	2	9,000	2	9,000	5	9,584
伊勢志摩	10	23,643	7	25,909	6	12,341
東紀州	6	3,698	4	2,561	7	2,153
中勢	4	5,608	2	4,525	7	2,174
三重県	15	82,276	20	96,504	26	100,176
合計	44	139,056	41	147,439	60	137,162

(単位：千円)

## 中小企業との共同研究の実績

地域	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
北勢	10	8,367	9	4,872	24	6,217
伊賀	3	200	9	2,950	11	1,761
伊勢志摩	6	2,238	10	2,067	10	2,922
東紀州	0	0	0	0	1	375
中勢	40	19,987	37	35,170	56	29,412
県外	38	26,310	46	34,131	61	62,459
合計	97	57,102	111	79,190	163	103,146

(単位：千円)

## 県内29市町との協定締結数

平成27年度	平成28年度	平成29年度
14件	29件 (全市町と協定締結)	29件 (全市町と協定締結)



# 三重大学地域拠点サテライト